

○自ら学び自ら考える子「なるほど」 ○お互いを認め合う子「いいね」 ○心身ともに元気な子「しっかり」

北大和小だより 3月号

令和5年2月28日
大和市立北大和小学校
〒242-0001 大和市下鶴間685
ホームページ <http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/s-kita/>



「春よ来い。」

2月も本日で終わり、明日より3月になります。日の出の時間が少しずつ早くなり、周囲では「今年の花粉症は手ごわそうだ」という話も聞かれるようになりました。「春」の足音が聞こえ始めています。「春よ来い。」

さて、学校では年度末に向けて残りの日々を大切に過ごそうと、登校日のカウントダウンを始めたクラス見られます。学年のまとめと次年度の進級進学準備が始まっています。少しずつ4月の新しい生活のイメージを持って心の準備ができるように進めてまいります。

ところで、2月はコロナ感染の影響は影を潜めていますが、その代わりに「インフルエンザ」が流行しており、学級閉鎖を余儀なくされているクラスも出ている状況です。ご家庭のご協力を得ながら感染対策を進めていく必要があります。

その中で、報道等でご存知かと思いますが、報道の後で、「卒業式のマスクの扱い」について動きがありました。県の通知を受けて大和市では以下になりました。

○式場の換気等の基本的な感染対策を徹底する。

○卒業式の教育的配慮等を考慮し、卒業生については、式全体を通じマスクの着用は求めないが、歌や呼びかけなどの大きな声の発声を伴う活動はマスクの着用を促す。

○教職員は式全体を通じてマスクの着用を促す。祝辞や呼名などは着用を求めない。

○保護者・来賓については式全体を通じてマスク着用などの基本的な感染対策への協力を求める。

現在、比較的、「コロナウイルス感染」は落ち着いてきていますが、マスクを外すことに抵抗を感じる児童や保護者の皆様もあるかと思えます。しかしながら、思い出に残る「晴れの日」に教育的配慮として可能な限りマスクを外せる環境を用意したいということになります。「マスクを外していいよ」という声かけになるかと思えますが、「外したくない」思いも大切にしながら、「個の判断に任せていく」方向です。お互いに認め合っていく環境が現在のところ必要と思えます。卒業生のあるご家庭では話題にさせていただき、皆様のご理解ご協力とともに、今までの環境の中で影響を受けてきた卒業生全体への温かい眼差しをお願い申し上げます。

なお、在校生を含めた日頃の活動では基本の感染対策を継続しますが、今後の動きを注視しながら「個の判断でマスクを着用する」本来の姿に戻ることを希望しています。校長

「PTA活動に感謝の気持ちを込めて」

今年度、PTA活動について活動が次年度への引継ぎを行う時期となり、今年度も活動が終わっていきます。感染の影響もある中での活動でしたが、連携し工夫をする中で児童のための活動を進めていただき各役員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。